

～コミュニティ・スクールだより No.8～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

竜北東小CS「命を守る班」による通学路の安全確保！！

1 竜北東小 CS「命を守る班」による通学路の危険箇所点検【7月22日（月）】

竜北東小CSでは、安全に子どもたちが登下校できるように、毎年「命を守る班」のCS委員が、通学路における危険箇所を点検しています。

本年度は、6/8(土)の土曜授業日の「引き渡し訓練」の後、親子で通学路の点検を行ってもらい、危険と思われる箇所を知らせてもらいました。集まった情報をもとに、「命を守る班」のCS委員が実際に通学路を点検し、危険箇所への対応を町や地権者の方をお願いしました。



CS委員が実際に通学路の危険箇所を点検

2 危険箇所への対応の例【10月9日（水）】

保護者アンケートに、「通学路わきの笹竹が子供たちの背丈より伸びて、周りから死角になって危ない」との声があったため、CS委員が現場に行ってみると、通学路わきの笹竹が、歩道に被さる勢いで伸びていました。

そこで、地権者の方にご協力をお願いし、笹竹の伐採を一緒に行わせてもらいました。東小の子供たちの安全のためならと、快く承諾いただきました。約3時間かけて伐採し、軽トラックで6回東小へ運びました。

作業後の通学路は、明るく見晴らしが良くなり、「これで安心して登下校できるね。」と、疲れも吹き飛んだ爽やかな秋日和となりました。



みんなで汗だくになりながら、奮闘しました



3 SDGsを意識した新たな展開へ【10月21日（月）】

東小に集まった伐採したたくさんの笹竹。何か活用できないかと検討を重ねた結果、竹パウダーにすることにしました。氷川町役場から粉碎機を借用し、2時間かけて全て竹パウダーにしました。竹パウダーは、殺菌効果や土壌改良にも効果があることから、今後、学校の畑に蒔くなど、野菜づくりや栽培活動にも役立ちそうです。

町教育委員会をはじめとする行政の皆さんの助言や保護者や地域の皆様のご協力のおかげで充実した取組となりました。改めて、学校・家庭・地域・行政そして子供の「五者連携」の大切さを感じた取組でした。



集まったたくさんの量の笹竹。すべてパウダーに粉碎して、今後の活動に役立てます